

パズルと教育

当講座は本学アミューズメント産業研究所の研究成果の一端を地域のみなさまにご紹介することを目的に実施しています。今回は「パズルと教育」をテーマに、教育によってもたらされる知的刺激や愉しみと、パズルという知的遊びがもたらす教育効果の結びつきについて、楽しみながら学ぶことを趣旨とします。

平成25年**5月18日**(土) **13:30~16:55** (受付開始**13:00**)

講座

1

13:35



江戸時代の和算パズルと塵劫記の魅力

『塵劫記』という、江戸時代に吉田光由が著した数学の初等教科書がある。そこには生活に即した実用的な問題のみばかりでなく、数学パズル的な問題も多数収録されている。本講演では『塵劫記』に実際収録されている油分け算、百五減算、薬師算などのパズル的な問題をいくつか取り上げ、その初等的解法について解説を試みる。パズル的な問題を通して、『塵劫記』延いては数学と共にパズルの魅力もお伝えできればいいなと考えています。

● 講 師：鹿島 秀元

(大阪商業大学経済学部准教授/大阪商業大学アミューズメント産業研究所プロジェクト研究員・平成23~24年度)

特別
講演

14:45



世界的パズル「数独」命名者とパズルに挑戦

● ゲスト講師：鍛冶 真起

(株式会社ニコロ代表取締役社長)

講演の他に、受講者参加型の催しを予定

講座

2

15:55



パズルが育む思考力

古代において、パズルを解く能力は、聖職者の欠くべからざる資質として要求され、宗教教育の観点から注目されてきました。宗教改革と産業革命を経た現代においても、パズルはなお教育に有用なものと信じられています。入学試験や入社試験でも、しばしばパズルが出題されてきました。数多くの知育玩具やパズル本が謳うように、パズルを解くことで思考力が向上するのはなぜなのかを、歴史・教育・科学などの知見を元に分析します。

● 講 師：東田 大志

(京都大学大学院人間環境学研究科博士課程/大阪商業大学アミューズメント産業研究所嘱託研究員・平成23~24年度)

■ 場 所：大阪商業大学ユニバーシティホール蒼天

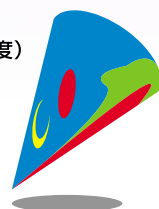
■ 定 員：300名 (申込先着順、定員になり次第受付終了)

■ 対 象：学生、一般市民 ■ 受講料：無 料



大阪商業大学 Brand new you.
Osaka University of Commerce

出会いがあなたを楽しくする



〒577-8505 東大阪市御厨栄町4-1-10
大阪商業大学アミューズメント産業研究所
TEL:06-6618-4068 FAX:06-6618-4069
E-mail: amuse@oucow.daishodai.ac.jp